

令和 6 年度 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 事業報告

【総 括】

少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの変化等により、地域社会の在り方は大きく変容し、様々な生活課題が顕在化しています。コロナ禍以降、地域活動の停滞や地域住民同士のつながりの希薄化は顕著であり、加えて、物価高騰の影響により、経済的困窮が表面化するなど、生活課題・地域課題は、益々複雑化・深刻化しております。

本会は、このような地域生活課題を積極的に捉え、多様な主体による地域福祉活動を推進していくことが極めて重要であると認識し、広川町地域福祉計画・広川町地域福祉活動計画を行動指針とした、令和 6 年度本会事業計画に基づき、「ふくしのまちづくり」の実現に向け、事業に取り組んでまいりました。

①令和 6 年度は、『第 3 期広川町地域福祉計画』（令和 7 年度からの 5 カ年計画）と歩調を合わせるため、見直しの期間を 1 年短縮するかたちで、『第 3 期広川町地域福祉活動計画』（令和 7 年度からの 5 カ年計画）の策定に取り組みました。地域福祉を推進する中核的な福祉団体として、民間の地域福祉活動の推進計画である『第 3 期広川町地域福祉活動計画』の実現に向けて、多様な主体との連携・協働を図りながら、取り組みを進めてまいります。

②地域包括ケアシステムの構築・地域共生社会の実現に向けた取り組みといたしましては、介護予防や生活支援に取り組む様々な主体との連携・協働による支援体制の構築を目指し、「買い物支援」「地域の寄り合い活動支援」「住民主体による生活支援」「認知症理解促進・見守り支援」「生活困窮者世帯等支援」を重点施策として取り組んでまいりました。

③在宅福祉サービス事業につきましては、町介護予防事業及び子育て支援事業、自主事業としての介護保険制度に基づく居宅介護支援事業及び通所介護事業に取り組みました。今後も、地域に根差した福祉サービスの提供に引き続き取り組むとともに、更なる生活課題の解決に向けて、新たな福祉サービスの創設に取り組んでまいります。

④災害支援等に関する取り組みといたしましては、令和 6 年能登半島地震により被災した、石川県鳳珠郡穴水町が開設した「穴水町災害ボランティアセンター」に本会職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援に取り組みました。

また、令和 6 年 3 月に筑後市・大川市・大木町・広川町・福岡県社協の 5 社協間において締結をいたしました、「中筑後地区社会福祉協議会災害時相互支援協定」に基づき、災害ボランティアセンター設置運営訓練等に取り組み、広域における災害支援ネットワークの構築を進めました。

本会におきましては、今後とも、引き続き、広川町の福祉の更なる充実・発展のため、役割を積極的に捉え、多様化する福祉ニーズ、その他あらゆる地域生活課題に専門性を持って対応し、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいります。

【実施事業の内容】

1. 法人運営事業

(1) 役員会等の開催

社会福祉協議会の基本的性格としての、非営利性、公共性を重視し、役員及び評議員と連携し、適切な事業経営と組織運営に取り組みました。

■理事会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 6 年 6 月 12 日（水）	報告事項 ①会長の職務執行状況報告 議案第 1 号 評議員候補者の推薦（案）及び評議員・選任解任委員会の開催について 議案第 2 号 令和 5 年度事業報告及び決算の承認について 監査報告 議案第 3 号 評議員会の開催について
第 2 回	令和 7 年 3 月 10 日（月）	報告事項 ①会長の職務執行状況報告 議案第 1 号 固定資産の処分（案）について 議案第 2 号 令和 6 年度第 1 次補正予算（案）について 議案第 3 号 職員給与規程の改正（案）について 議案第 4 号 令和 7 年度事業計画（案）について 議案第 5 号 令和 7 年度予算（案）について 議案第 6 号 評議員会の開催について

■評議員会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 6 年 6 月 26 日（水）	議案第 1 号 令和 5 年度事業報告及び決算の承認について 監査報告
第 2 回	令和 7 年 3 月 24 日（月）	議案第 1 号 令和 6 年度第 1 次補正予算（案）について 議案第 2 号 令和 7 年度事業計画（案）について 議案第 3 号 令和 7 年度予算（案）について

■監査、検査

回	開催日	内 容
第 1 回	令和 6 年 5 月 23 日（木）	令和 6 年 1 月～3 月分検査、令和 5 年度決算監査
第 2 回	令和 6 年 10 月 4 日（金）	令和 6 年 4 月～6 月分検査
第 3 回	令和 6 年 11 月 8 日（金）	令和 6 年 7 月～9 月分検査
第 4 回	令和 7 年 2 月 13 日（木）	令和 6 年 10 月～12 月分検査

■評議員選任・解任委員会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 6 年 6 月 17 日（月）	議案第 1 号 評議員の選任（案）について

(2) 社会福祉法人の公益的取り組みの推進

社会福祉法人の公益的取り組みとして、複雑化・複合化する地域生活課題の解決に向けて、社会福祉法人が連携して、その課題解決に取り組む体制づくりを進めました。

また、具体的な公益的取り組みとして、ふくおかライフレスキュー事業や生活困窮者緊急食糧等支援事業、子育て支援事業など、多様な主体と連携・協働した、制度の狭間にある地域生活課題の解決に向けて取り組みました。

■ 広川町社会福祉法人連絡会

開催日	内 容
令和 7 年 1 月 27 日（月）	広川町社会福祉法人連絡会（第 6 回） ・ 法人連携協働実践報告について ・ 各法人における公益的取り組み等に関する情報交換 ・ その他

■ その他の公益的活動

- ・ ふくおかライフレスキュー事業による生活困窮者等支援
- ・ 生活困窮者支援（生活困窮者緊急食糧等支援事業）
- ・ 子育て世帯支援（子育て用品等リユース事業）
- ・ 災害支援（災害ボランティアセンター運営支援） など



社会福祉法人連携



JA 女性部フードドライブ事業

2. 地域福祉事業

誰もが安心して暮らすことができる「ふくしのまちづくり」を基本理念とし、住民とともに関係機関等と連携を図りながら、地域福祉活動の推進、充実に取り組みました。

(1) 地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進

広川町の第2期地域福祉計画と連携する第2期広川町地域福祉活動計画に基づき、広川町における効果的な地域福祉の推進に取り組みました。

また、令和6年度は、『第3期広川町地域福祉計画』（令和7年度からの5カ年計画）と歩調を合わせるため、見直しの期間を1年短縮するかたちで、『第3期広川町地域福祉活動計画』（令和7年度からの5カ年計画）の策定に取り組みました。

(2) 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けた取り組み

①生活支援コーディネーター設置事業（町受託）

介護予防や生活支援に取り組む様々な主体との連携・協働による支援体制の構築を進めるため、生活支援コーディネーターを設置し、地域資源の把握やニーズ分析を行い、高齢者等の介護予防・生活支援の基盤整備に取り組みました。

■移動店舗販売実施地域（令和7年3月31日現在）※行政区の数字は実施箇所数

上広川（10）	逆瀬谷1、鬼ノ瀬2、馬場1、内田1、一応1、吉常2、長延上1、長延下1
中広川（16）	太原1、高間1、清楽茶屋1、清楽1、久泉1、増永1、扇島2、太田2、吉里2、長徳1、緑ヶ丘2、北新代1
下広川（5）	牟礼1、当条2、智徳1、藤田1
合 計	24行政区 31箇所

（協力事業所）エフコープ生活協同組合、移動スーパーとくし丸

■くらしのサポーター「くらサポ」活動実績

相談件数	32件	本人8件、家族2件、福祉課3件、包括5件、在介1件、行政区長1件、民生委員1件、医療機関・ケアマネジャー11件
活動（支援）件数	330件	ごみ出し183件、掃除126件、買い物代行20件、洗濯1件
利用登録者数	26名	90代2名、80代13名、70代8名、60代1名、50代1名、20代1名
登録サポーター数	28名	新規登録者2名

■くらしのサポーター養成講座 他

開催日	開催内容	参加人数
令和6年 8月9日（金）	「つなぐ、つながる人と社会～安心して暮らせる広川町をめざして～」 講師：九州大谷短期大学 幼児教育学科 教授 中村秀一 氏	11名
令和6年 8月20日（火）	「認知症とともにくらすということ～じゅんばんこの支え合い～」 講師：広川町社会福祉協議会 認知症地域支援推進員 高鍋拡美 氏	17名
令和6年 9月6日（金）	「上手なコミュニケーションのコツ」 講師：一般社団法人日本ほめる達人協会 認定講師 小野ひろこ 氏	18名
令和6年 11月23日（土）	第11回くらサポミーティング 「“介護の日のつどい”認知症あったかホームコンサート 2024」	12名

令和 7 年 2 月 19 日（水）	第 12 回くらサポミーティング ・ 令和 6 年度の活動状況報告 ・ グループワーク～相談事例から今後の活動内容を検討する～	15 名
-----------------------	---	------

■介護予防活動「地域通いの場」

上広川（1）	長延上・下
中広川（1）	久泉
下広川（3）	当条、一條、藤田
合 計	5 通いの場

■スマホ講座

開催回数	講座内容	実施地域	参加人数
6 回	・ 通話をもっと便利に ・ カメラをもっと自由に ・ インターネットをもっと手軽に	吉常、扇島、清楽茶屋、 川瀬、牟礼、当条	延 63 人

講師：エックスモバイル 様

※広川町教育委員会中央公民館との共同企画として実施

②認知症施策総合推進事業（町受託）

認知症の人とその家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や様々な専門機関と連携した支援体制づくりに取り組みました。

■相談支援実績

延相談件数（対応回数）	38 件（198 回）
-------------	-------------

■認知症理解の普及啓発

認知症サポーター養成講座	6 回	上広川小学校、下広川小学校、広川中学校、内田行政区、 民生委員児童委員協議会、立山歯科
認知症講座	3 回	太原老人クラブ、くらしのサポーター養成講座、 鬼の淵区サロン
その他の普及啓発活動	2 回	認知症あったかホームコンサート WEB 参加企画、 映画「オレンジ・ランプ」上映会企画

■認知症カフェ「なのはなカフェ」の開催

開催回数	14 回	はなやぎの里 12、広川まつり 1、あったかホームコンサート 1
延参加人数	213 人	介護者 44 人、介護経験者 24 人、一般 132 人、その他 13 人



移動店舗販売



認知症講演

(3) その他の地域福祉事業

①高齢者いきいきサロン支援事業（町受託）

住民主体の寄り合い活動であるサロン活動を支援し、地域の居場所づくり、住民同士のつながりづくりの推進に取り組みました。

■サロン活動実施地域（令和7年3月31日現在）

上広川（8）	逆瀬谷、梯、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、吉常、長延上・下
中広川（15）	太原、高間、清楽茶屋、清楽、久泉、増永、扇島、太田、吉里、川瀬、長徳、古賀、川瀬北、緑ヶ丘、北新代
下広川（3）	牟礼、智徳、一條
合 計	26 サロン

②ふれあいいきいきサロン・地域通いの場助成事業

高齢者等の閉じこもり予防や地域のつながりづくりを目的としたサロン活動、高齢者の転倒予防や筋力低下を予防することを目的とした通いの場の運営、立ち上げ等にかかる経費に対し、財政支援を行い、更なる活動の充実に取り組みました。

■助成実績

助成金種別	助成額	備 考
サロン活動運営費助成	1,020,000 円	梯、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、長延上・下、太原、高間、清楽茶屋、清楽、久泉、増永、扇島、太田、川瀬、長徳、古賀、緑ヶ丘、牟礼、智徳、一條 計 21 サロン
サロン活動新規立ち上げ時助成	0 円	
サロン活動備品購入助成	80,000 円	緑ヶ丘 計 1 サロン
通いの場運営費助成	297,000 円	長延上・下、久泉、当条、一條、藤田 計 5 通いの場
合 計	1,397,000 円	

③合同金婚式の開催（第 45 回）

結婚 50 周年を迎えられたご夫妻をお祝いするため、「合同金婚式」を開催いたしました。

■合同金婚式（第 45 回）

開催日	開催会場	参加人数
令和 6 年 11 月 15 日（金）	料亭 扇屋（広川町太田）	17 組

④母子・父子世帯親子招待会の開催

ひとり親家庭の孤立予防と、親子の思い出づくりを目的に、「ひとり親世帯親子招待会」を開催いたしました。

■母子・父子世帯親子招待会

開催日	開催内容	参加人数
令和 6 年 8 月 17 日（土）	長崎県佐世保市 九十九島動植物園「森きらら」、 九十九島水族館「海きらら」	9 世帯 (21 人)

⑤福祉教育の推進

すべての人が社会の中で、心豊かで幸せな生活を送ることができるよう、「ともに生きる力」を育む、福祉教育の推進に取り組みました。

■福祉教育の実施

開催日	開催内容	対 象
令和 6 年 6 月 19 日（水）	車いす体験からともに生きるを考える	中広川小学校 4 年生 123 人

■福祉教育教材『ともに生きる』の配布

配布対象者	上広川小学校 5 年生、中広川小学校 4 年生、下広川小学校 5 年生
配布数	220 冊（上広川小学校 40 冊、中広川小学校 133 冊、下広川小学校 47 冊）

⑥愛のネットワーク活動助成事業

民生委員児童委員の福祉活動に対して助成金を交付し、支え合い活動の推進に取り組みました。



サロン活動の推進



合同金婚式

（４）各種相談・支援事業

①広川町高齢者心配ごと相談事業（町受託）

日常生活上の様々な心配ごととの相談に応じ、福祉サービスの紹介、関係機関へのつなぎ等を行い、早期対応に取り組みました。

※本事業は、令和７年度より、社協職員対応による常設型の相談事業として実施するため、令和６年度をもって受託を終了いたしました。

■相談実績

開催日数	12 日	毎月第三水曜日（9：00～15：00）
相談件数	3 件	相談内容：生計 1 件、家族 1 件、その他 1 件

②生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支援し、地域での生活と社会参加を図ることを目的とした貸付制度の申請・相談窓口として、関係機関と連携した支援に取り組みました。

また、新型コロナウイルスに係る生活福祉資金特例貸付の償還等相談支援窓口として、本則における生活福祉資金と一体的に相談支援に取り組みました。

■生活福祉資金等に関する相談支援（※新型コロナウイルスに係る特例貸付含む）

相談件数	375 件	相談内容（重複あり）：お金・負債 328 件、仕事 260 件、病気・体調 72 件、住まい 121 件、家族・孤立 106 件、その他（償還相談・食料支援他）46 件
貸付申請件数	18 件	資金種別：緊急小口 11 件、福祉費 3 件、教育支援 4 件

③日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が不十分なため、日常生活でお困りの人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理の支援に取り組みました。

■支援実績

新規契約者	1 人
支援者数	5 人

④生活困窮等に関する支援

生活資金に困窮し食糧等の支援が必要な人、生活福祉資金貸付相談者、ひとり親世帯、地域食堂実施地域等への食料支援・提供を行いました。

また、備蓄食料は、様々な団体や企業、地域の皆さまにご協力いただき、安定的な供給体制の構築に取り組みました。

■生活困窮者緊急食糧等支援

食料支援件数	313 件	延 308 世帯、延 5 団体
食料協力件数	153 件	一般 33 件、フードバンクくるめ 13 件、医療・社会福祉法人 7 件、JA ふくおか八女 1 件、JA 直売所よらん野 99 件

3. 在宅福祉サービス事業

住民の在宅生活を支えるため、在宅福祉サービスの提供に取り組みました。また、関係機関と連携し、サービス調整を図りながら、総合的なケア体制の充実に取り組みました。

(1) 介護保険事業

①居宅介護支援（ケアマネジメント）事業

介護保険法に基づく居宅介護支援サービスとして、ケアマネジャーによる介護相談、ケアプランの作成、適切な在宅福祉サービスの利用支援、各種在宅福祉サービスの申請代行等に取り組みました。

■利用実績

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	12 人	0 人
介護保険	459 人	△65 人

②通所介護（デイサービス）事業

介護保険法に基づく通所介護サービスとして、日常生活上の支援や生活機能訓練等を行い、利用者の心身機能の維持向上と、家族介護者の支援に取り組みました。

■利用実績

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	249 人	△211 人
介護保険	3,076 人	291 人

(2) 町受託事業

①広川町介護予防教室いきいき元気教室事業

健康体操や認知症予防の脳トレ学習、レクリエーションを楽しみながら行う通所型の介護予防教室を実施し、高齢者の閉じこもり予防、生きがいをづくりに取り組みました。

■利用実績

延利用者数	前年度比
3,293 人	△285 人

②広川町生活管理指導員派遣（ホームヘルプ）事業

在宅での家事等が一時的に困難な人に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、日常生活の支援に取り組みました。

※本事業は、登録ヘルパーの補充及び確保が困難なため、令和6年度をもって受託を終了いたしました。

■利用実績

延派遣回数	前年度比
320 回	70 回

③広川町産前産後家事代行等サポート事業

妊娠中及び産後（一歳未満）の期間において、日常生活の家事や育児に支援が必要な家庭に対し、サポーターが訪問し、必要な支援に取り組みました。

※本事業は、登録ヘルパーの補充及び確保が困難なため、令和 6 年度をもって受託を終了いたしました。

■利用実績

延サポート回数	前年度比
71 回	66 回

④広川町在宅介護支援センター運営事業

在宅で介護が必要な人、ひとり暮らしや認知症等で暮らしに不安がある人、またその家族からの介護相談に応じ、福祉サービスの紹介、関係機関へのつなぎ、各種福祉サービスの申請代行等の支援に取り組みました。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の実態把握のため訪問を行い、高齢者の生活課題の早期発見・早期対応に取り組みました。

※本事業は、令和 7 年度より、認知症施策総合推進事業に事業を統合し実施するため、令和 6 年度をもって受託を終了いたしました。

■相談対応実績

相談対応件数	延 412 件	
実態把握件数	337 件	訪問等把握 84 件、その他参加等確認 253 件

⑤広川町介護予防事業等アセスメント事業

広川町が実施する介護予防事業等の利用申請者において、各事業の要綱に規定する対象者として決定するための聞き取り調査（事前評価：アセスメント）を実施いたしました。

※本事業は、令和 7 年度より、認知症施策総合推進事業に事業を統合し実施するため、令和 6 年度をもって受託を終了いたしました。

■アセスメント実績

アセスメント件数	6 件	いきいき元気教室 6 人
----------	-----	--------------

（３）その他の事業

①車椅子貸与事業

日常生活で、一時的に車椅子を必要とする方に、介護負担・経済的負担の軽減を目的に、車椅子の無償貸与を行いました。

■貸与実績

車椅子台数	13 台
貸与件数	35 件

4. 指定管理経営事業

広川町保健・福祉センターはなやぎの里の指定管理者として、施設・機能の充実による利用の促進を図るとともに、適正な管理・経営に努めました。

■利用実績（休憩室・入浴・健康器具利用者、貸会議室等利用件数）

利用種別	利用者数	前年度比	備 考
休憩室・入浴・健康器具	8,170 人	570 人	町内 7,808 人、町外 362 人
貸会議室	795 件	△77 件	

5. ボランティア活動促進事業

広川町における総合的なボランティア活動の推進を目的に、広川町ボランティア活動センターの運営、災害ボランティアに関する事業等に取り組みました。

（１）ボランティア活動センター事業

ボランティア活動の推進拠点として、ボランティア活動センター「よかよか」の運営を柱に、ボランティアの育成、普及啓発、相談支援等に取り組みました。

■ボランティア活動センター運営実績

開館日数		243 日
ボランティア団体登録数		31 団体
個人ボランティア登録数		14 人
目的型ボランティア登録数	くらしのサポーター「くらサポ」	28 人
	災害ボランティア	個人：16 人、団体：3 団体
	傾聴ボランティア	6 人
利用者数（来館者数）		627 人
ボランティアコーディネート件数		36 件
相談件数		245 件

■ボランティア保険等加入実績

ボランティア保険	96 件	活動保険 63 件、行事用保険 29 件、福祉サービス総合補償 2 件、送迎サービス補償 2 件
----------	------	--

（２）災害ボランティアセンターに関すること

災害支援等に関する取り組みとして、令和 6 年能登半島地震により被災した、石川県鳳珠郡穴水町が開設した「穴水町災害ボランティアセンター」に本会職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援に取り組みました。

また、令和 6 年 3 月に筑後市・大川市・大木町・広川町・福岡県社協の 5 社協間において締結をいたしました、「中筑後地区社会福祉協議会災害時相互支援協定」に基づき、災害ボランティアセンター設置運営訓練等に取り組み、広域における災害支援ネットワークの構築を進めました。

■災害支援ネットワークの構築

令和 6 年 4 月 11 日（木）～ 4 月 18 日（木）	令和 6 年能登半島地震災害支援のための職員派遣（1 名） 石川県鳳珠郡穴水町災害ボランティアセンター運営支援
11 月 7 日（木）	広川町社会福祉協議会×UCILab. 共同実証実験意見交換会
令和 7 年 2 月 15 日（土）	中筑後地区災害ボランティアセンター設置運営訓練



能登半島地震災害支援職員派遣



中筑後筑後災害ボランティアセンター設置運営訓練

6. 福祉関係団体支援事業

福祉関係団体と連携を図りながら、よりよい「ふくしのまちづくり」を目指して、福祉関係団体の活動支援、協働体制づくりに取り組みました。

■支援団体の概要

団体名	委員数・会員数
広川町民生委員児童委員協議会	40 名
広川町老人クラブ連合会	1,705 名
広川町身体障害者福祉協会	57 名
広川町遺族会	146 名
広川町心身障害者（児）父母の会	11 会員家族
広川町母子寡婦福祉会	53 名

7. 広報・啓発活動事業

地域福祉の情報が効果的に得られるよう、広報誌やホームページ、福祉イベントへの参加など、様々な手段を用いて広報の充実に取り組みました。

■ 広報・啓発活動事業実績

方 法	内 容
『広川町社協だより』	6 月、11 月、12 月、3 月の年 4 回発行（全戸配布） ※災害対応のため、時期を変更して発行いたしました。
『広報ひろかわ』	寄付等報告、各種事業・企画の開催案内 など
社協ホームページ	新着情報、各種事業の概要、各種申請 URL hirokawashakyou.jp
SNS（ソーシャルネットワークサービス）	新着情報、地域活動の紹介 など URL facebook.com/hirokawashakyou.fukuoka/ 公式 Instagram hirokawamachishakyou
広報テープ貸与	朗読ボランティア広川テープの会及び個人ボランティアの協力により、『広報ひろかわ』『社協だより』『議会だより』を音訳・録音し、視覚障がいのある人への貸出を実施